

今月の絵本

天使のクリスマス



毎年クリスマスが近づくと手にとりたくなる、字のない美しい絵本です。

さくら新聞

令和2年12月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7-25-45
TEL 3997-0070
FAX 3997-0972

～笑顔de共育て～



月の主題 楽しい師走

今月の保育のねらい
・師走の雰囲気を楽しむ



大きくなったね会



子どもたちの成長を保護者の皆様と共感できることを願って、4歳児・5歳児クラスで『大きくなったね会』を実施いたします。

子どもたちに過度な負担を強いて練習させることなく、日々の保育の中で身に付けた力や成長した姿を楽しく表現できる会になればと願っています。

コロナ禍での行事となり、人数制限・常時換気・座席固定などの配慮をしつつ実施いたします。詳細は別紙お便りいたします。

来年も何卒よろしくお願いたします。

ありがとうございます

コロナで始まった令和2年度、保護者の皆様には、保育園の運営にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。新たな年の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

年の瀬を迎えます

立冬が過ぎ、園庭の木々が色付き、落ち葉を掃いても掃いても、振り返れば地面が落ち葉で彩られてしまう今日この頃、夕方暗くなるのが早くなり、年の瀬を迎える時期がやってきたなと感じます。大人にとっては忙しい師走ですが、子どもたちにとっては楽しいことが目白押しのも月となります。



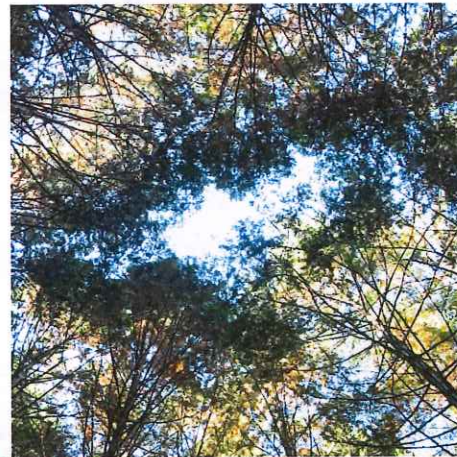
森の中で子どもの未来を考える



先日、奥多摩の森に出かける機会に恵まれました。

東京にある森の6割は、戦後に植林されたスギ・ヒノキとのこと。人が植林してつくった森は、数年ごとに間伐や枝打ちを行い、手入れすることで、木が根をしっかりと張り、光が差し込むことで植物が生い茂り、動物の棲み家となり、水を貯える「緑のダム」となります。結果、土砂災害・洪水を防ぎ、私たちの生活に欠かせない水と大地を守りことにつながるのだそうです。

下の写真は、間伐を行ったことでおひさまの光が差し込むようになった『空あけ』の状態です。木々は光を求めて枝を伸ばし、根を地に深く張ることができるようになります。



気持ちのよい森の空気の中で、木々を眺めているうちに、子どもたちにも『空あけ』の状態を整えていく必要があると感じました。子ども自身が興味関心のあることに気持ちを傾けられる『伸びていこうとするスペース』を環境として整えていきたいと思いました。そして、お互いの個性を尊重し合える社会を作り出せる人になってほしいと願ったことでした。

12月 行事予定



日	曜日	内容
4	金	大きくなったね会
8	火	身体計測(乳児) おはなし会
9	水	身体計測(幼児)
10	木	避難訓練
16	水	0歳児健診
17	木	5歳児 保護者会
24	木	年末お楽しみ会 お楽しみ献立

- ・4日 ⇒ ニコニコフォト撮影日
- ・17日、22日⇒さくらアートくらぶ(4歳児)
- ※年間予定にありました『年末お楽しみ会』は24日に変更し、コロナ禍の状況から例年とは内容を変えて実施予定です。
- ※おはなしのへやは、引き続きお休みです。
- ※『おもちゃつき』は練馬区の指示により、感染症リスク低減のため中止となりました。

東京都福祉サービス第三者評価について

利用者アンケート 調査対象:105世帯 回収世帯:81世帯 回収率:77.1%

*満足度集計結果

大変満足: 64	79.0%	} 98.8%
満足: 16	19.8%	
どちらともいえない: 1	1.2%	
不満: 0	0%	

アンケートへのご協力ありがとうございました。

詳細は、**第三者評価機関のフィードバック**後にお知らせ致します。



令和2年12月28日(月) 保育終了日
***令和2年12/29(火)**
 ~令和3年1/3(日) 休園日
 令和3年1月4日(月) 保育開始日